You, Unlimited

Ryukoku University

REC News Letter

Ryukoku Extension Center ニューズレター

No.169 発行日：2022年1月25日

ご報告 第 33 回 新春技術講演会を科学技術共同研究センター及び食と農の総合研究所と合同で開催しました！！

1 月 12 日（水）、新年の恒例行事である新春技術講演会を科学技術共同研究センター及び食と農の総合研究所と合同で開催しました。第 33 回目となる今回は、「宇宙と地球から生命の過去と未来を考える」というテーマを掲げ、特設サイトでの LIVE 配信にて行いました。

当日は、冒頭に経済産業省近畿経済産業局 地域経済部長 大木 雅文 氏からご挨拶を賜るとともに、「関西経済の未来に向けて」と題して、ご講演いただきました。

基調講演 I では、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 理事／宇宙科学研究所 所長 國中 均 氏から、「JAXA 深宇宙探査船団が挑む太陽系宇宙４６億年の進化史」、基調講演 II では、神戸大学副学長／大学院科学技術イノベーション研究科長・教授 近藤 昭彦 氏から、「バイオエコノミー拡大を加速する「バイオ×デジタル」融合」と題して、それぞれご講演いただきました。

続いて、先端理工学部 機械工学・ロボティクス課程 大塩 裕哉 助教から「次世代のプラズマを利用した宇宙推進システム」、農学部 植物生命科学科 土岐 精一 教授から、「植物における精密ゲノム編集技術の展開」と題して、研究成果の一端を発表していただきました。

また、先端理工学部、農学部、各研究所を中心として発表したポスターセッションは、今回初の試みとして、オンラインコミュニケーションツール「oVice」を用いてバーチャル会場で実施し、リアルタイムで質疑応答や意見交換がおこなわれました。

ウィズコロナ、アフターコロナにおいて、社会も本学も研究活動・社会連携を模索する中、本講演会の宇宙やバイオテクノロジーの話題を通じて、生命の過去と未来を考える機会となりました。





大木 雅文 氏



國中 均 氏



近藤 昭彦 氏

ご報告 第 5 回 REC BIZ-NET 研究会「食の未来を拓く－新食品素材の開発と新商品の流通を考える－」をハイブリッド形式にて開催しました！！

12 月 20 日（月）に REC 設立 30 周年記念事業 第 5 回 REC BIZ-NET 研究会「食の未来を拓く－新食品素材の開発と新商品の流通を考える－」をハイブリット形式（オンライン＋対面）にて開催しました。新型コロナウイルス感染拡大によりオンラインのみによる開催が続いていましたが、感染状況が落ち着き、初のハイブリッド形式で開催することができました。40 名近くの参加申込があり（内 9 名が対面形式を希望）、質疑応答では様々な質問が出され、対面では講演後に講師への個別相談もあり、大変実りある機会となりました。



【講演テーマ・講師】

1 「植物性食品開発に向けた新規食素材の探索」
　農学部 食品栄養学科　講師　西澤 果穂

2 「まだ見ぬ食と農の価値を測る－選択型コンジョイント実験とその応用」
　農学部 食料農業システム学科　准教授　山口 道利



ご報告　龍谷大学ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍（ドラゴン）2021」【本選】を開催しました！！

12 月 25 日（土）に、「プレゼン龍 2021」を開催しました。昨年度に引き続き、ビジネスプランと SDGs のかかわりをテーマに掲げ、「“誰一人取り残さない”持続可能な社会」の実現に向けたビジネスプランを募集しました。

当日は、プレゼン龍学生実行委員会学生スタッフの運営・司会のもと、「プレゼン龍 2021」の本選と、「第 16 回龍谷大学高校生ビジネスアイデアコンテスト」の最終選考を行いました。

「プレゼン龍」からは、数々の起業家が生まれています。今回の参加者の中からも、新たな大学発ベンチャーが起業されることを期待しています。





今回の受賞者は次の方々です。

【大学生「プレゼン龍 2021」】

◆最優秀賞◆　京結(ゆ)える
余剰・廃棄衣服で開発したブロック！
～「結えるブロック」で実現する美しい社会循環～

◆優秀賞◆　ガチャコン
ガチャガチャ×ファッション　在庫服貸出サブスクサービス
～着られずに廃棄される服を 1 枚でも少なく～

【高校生ビジネスアイデアコンテスト】

◆最優秀賞◆　京都光華高等学校　山田 恵さん

◆優秀賞◆　東京都立清瀬高等学校　池津 杏南さん

ご報告　福祉フォーラム第 25 回 専門セミナー「対話を起点とする実践～オープンダイアローグの視点と方法～」を開催しました！！

福祉フォーラムでは、12 月 18 日（土）に第 25 回専門セミナーを瀬田キャンパス多機能教室で開催しました。

専門セミナーは社会福祉実践に関わる専門職やスタッフの方を対象とした講座で、福祉、保健、教育などの現場で直面する問題についての悩みや解決策を話し合ったり、専門的スキル向上を目指すものです。

今年度は、近年、精神医療分野で大きな注目を集めているオープンダイアローグの手法から、当事者との対話を重視した支援の思想、実践を学ぶこととし、医療法人明和会琵琶湖病院から精神科医の村上 純一 氏、精神科ソーシャルワーカーの山中 一紗 氏、同法人グループホームみなもからサービス管理責任者の井川 和行 氏をお招きし、セミナーを開催しました。





24 名（定員 30 名）の参加があり、まず参加者同士の自己紹介に始まり、参加者の受講にあたっての期待が共有されました。その後、琵琶湖病院の取り組みが紹介されるとともに、当事者を尊重した対話の重要性が確認され、相互に話を聴くワークが行われました。

参加者からは、「対話に重点をおいた支援が大切だと思いつつも支援の枠のとらわれ、結果を急ぎすぎる支援になっていることに気づきました。」、「高齢者の方で仕事をしているのですが、どこの領域でも対話は大切。本人や家族の思いを聞くことが支援のかぎとなると感じました。」、「講師 3 人の方の話し方、やりとりによってオープンダイアローグの雰囲気を体験できた気がしてとても良かったです。」等、様々な声が聞かれ、実りあるセミナーになりました。

お知らせ　2 月の REC の活動

◆2 月 25 日（金）より「龍谷オンライン講座」第 7 期 配信開始
その他、第 4 期に配信した 9 講座を再配信します。

◆2 月第一週より「小学生向けオンライン講座」第 4 弾
「こうじ（麹）をつかってあまざけを作ってみよう」（講師：農学部教授　田邊 公一）配信開始予定

RYUKOKU UNIVERSITY

Ryukoku University
REC News Letter
No.169

REC News Letter は毎月発行。次回は 2 月 25 日頃発行します。
※バックナンバーは下記よりご覧ください。
https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/news_letter-3/

編集・発行：REC 事務部
https://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

・REC 滋賀　REC ホール（内線 7744）
・REC 京都　紫光館 5 階（内線 6505）
・REC 東大阪　クリエイション・コア東大阪
産学連携ｵﾌｨｽ 2212 号